

パブリック・コメント「北本市公共施設マネジメント実施計画＜北本市公共施設適正配置計画編＞見直し（案）」
に対する意見と市の考え方

No.	意 見	市の考え方（回答）
1	人口減少のみ取り上げているが、社会増による就労世代の増加を考慮した市税含めた市の収入面に関する考慮がされていない。	今後の財政計画等による将来費用推計を参考に、適切に検討してまいります。
2	デーノタメ遺跡の国指定史跡になった結果から類推される観光収入の記述がない。市の収入の一助となると考えられる。	今後の財政計画等による将来費用推計を参考に、適切に検討してまいります。
3	公共施設規模の縮小は、高齢者の外出機会喪失となり、高齢者医療費の増大を助長するものである。フレイル予防効果も視野に入れて縮小のみの検討にはストップをかけるべきである。クロス・セクター・ベネフィットの考え方を再認識すべきである。	今後見込まれる扶助費増加や税収の落ち込みから、公共施設等への投資力低下は否めません。施設の老朽化が著しく進む現状、選択と集中により、適切な施設整備等を行うためにも、何卒御理解いただきますようお願い申し上げます。
4	統廃合されて残っていく施設への移動手段の確保を設計して欲しい。間違いなく、高齢者の交通弱者化が拡大していくことになる。	施設の統廃合に当たり、移動手段の確保については必ず生じる懸案であることから、今後の公共施設適正配置の際、併せて検討してまいります。
5	待機児童ゼロを目指す市の姿勢と子ども関連の施設については過大な施設整備は控えるべきとする改正案は矛盾するのではないか。待機児童ゼロ化のタイミングとリンクさせた上で考えるべきである。	本計画は、施設の維持管理の観点から長期的視点に立ち、策定する計画です。今後も少子化傾向は続いていくことが予想されますので、待機児童の対応については民間保育所等の受け入れ状況を勘案し、適切に対応してまいります。
6	用途地域指定の見直しを行い、跡地利用有効活用を推進するべきである。社会増を背景に居住地区としてもらいたい。	本計画は、現行の制度に基づいた計画としておりますので、いただいた御意見については、関連部署と情報共有を図り、今後の市政の参考とさせていただきます。
7	健康増進センター跡地は、屋根付き公園として、子ども達の居場所にすべきである。北本子ども公園の一角にドッグランの設置も検討していただきたい。北本市内登録犬数は、3000頭近くにもなっているのです。	本計画は、公共施設の適正配置計画ですので、公園設備の整備等の記載はいたしません。いただいた御意見については、関連部署と情報共有してまいります。
8	統廃合後の公共施設に、Zoom会議・在宅勤務可能な部屋を新設して新北本市民（北本移住者）ニーズを充足させることも必要である。	今後の公共施設の再編における参考にさせていただきます。